

2022年4月2日(土)快晴 暖かい。

前日成田に泊まって、成田線の下総松崎駅から歩き始め「④水鳥のみち」を9時に歩き終えて、甚兵衛渡しに到着した。これから歩く「⑳沼めぐりのみち」コースは、甚兵衛渡しから同じ道を途中まで戻って、印旛沼を開拓した栄町の田圃を突き抜けて、ゴールの JR 安食駅に向かう。水鳥の道とあまり変わらない、変化のないコースとなっている。



「⑳沼めぐりのみち」案内板、④水鳥のみち分岐路に建つ(首都圏自然歩道連絡協議会)



甚兵衛渡し(スタート)から JR 安食駅(ゴール)地図 8.3km



甚兵衛渡しを折り返してもと来た道を北へ、ゴールの JR 安食駅目差して歩き出す



田圃を横切って新しく出来た「成田スカイアクセス」高架鉄道の脇を通る



高架の鉄道を潜り、印旛沼方向に向かい、沼へ出るのだが、県道には信号がない。



朝歩いた灌漑用水路沿いに歩く(もと来た道に戻る)



とにかく静かで、鳥のさえずりが聞こえなければ、魚影も見当たらない。まるで沈黙の春だ



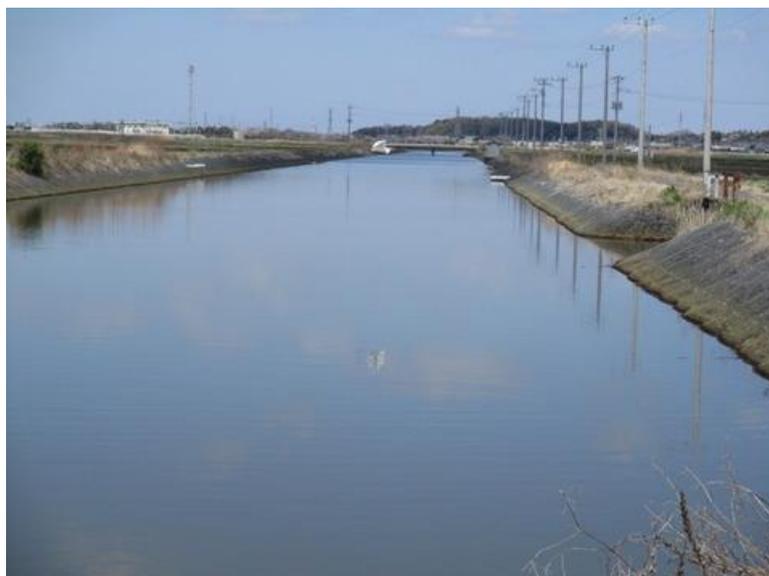
今日歩く「⑳沼めぐりのみち」と「④水鳥のみち」コースの分岐点に到着



分岐点をそのまま西へ、やっと釣り人が糸を垂れていた。聞くと鮒を釣っているとの事



この用水路は結構大きく、左側の印旛沼は干拓されて沼は見えない。  
春が来た。花は咲いているけど、鳥や蝶や虫たちはいない



自然は沈黙してしまったのか薄気味悪い。鳥たちは、何処へ行ってしまったのか、春が来たが沈黙の春だった・・・  
今は物音ひとつしない・・・皆黙りこくっている



やっと鳥に出会ったが休んでいるのか、餌を探しているのか、



やっと水鳥に出会った、こんな護岸だから水草も育たず、小魚も居つかないだろう



総ては人間がみずから招いた禍だったのだ(沈黙の春(レイチェル・カールソン、青木築一訳、新潮文庫)



酒直水門で長門川の水を調節している



ここから印旛沼を離れて、長門川沿いに安食の町に向かう



この辺りの桜堤防は川が高台を流れているから、見晴らしが良い。一休みしよう



県道に出て、駅に向かう途中「㉗川と沼をつなぐみち」と合流する



今日のゴール、JR 成田線 安食駅に到着 11:40 であった

この項完

[参考タイム] 甚兵衛渡し(9:25)→④・㉘分岐点(10:20-10:30)→酒直水門(11:05-11:10)  
→JR 安食駅(11:40 着)

「関東ふれあいの道(千葉)㉙城跡を訪ねるみち」に続く